

事業名	豊橋市視察・バイオマス資源利活用施設整備・運営事業
-----	---------------------------

目的 (どのような課題を解決するためかなど)	「バイオマス資源利活用施設整備・運営事業」について、脱炭素社会に貢献する、環境に配慮した政策や取組を学ぶ。バイオマス資源の100%エネルギー化によりCO ₂ の削減とエネルギーの地産地消が図られている取り組みを学ぶ。
内容	豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運営事業では、未利用バイオマス資源のエネルギー利用を行うため、PFI手法により中島処理場にバイオマス化施設を整備した。下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥及び生ごみを中島処理場に集約し、メタン発酵により再生可能エネルギーであるバイオガスを取り出している。バイオガスは、ガス発電のエネルギーとして利活用している。また、発酵後に残った汚泥は炭化燃料に加工してエネルギーとして利用している。
成果等 (市に活かせること等)	豊橋市では、「私たちがつくる 未来をつくる」の基本理念のもと、これまでの概念にとらわれることなく新たな発想や手法を取り入れながら多様な主体とのパートナーシップを結び「未来を 人を育むまち・豊橋」の実現を目指している。「豊橋からSDGsで世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり」が評価されていることから、大和市においても「SDGs未来都市」の選定を受ける等、地域社会を取り巻く諸課題の解決や地方創生の推進に向けて行くべきと考える。こういった事業を推進するには、「市民・事業者・行政」が一体となり、それぞれの役割と責務を果たすことが必要であり、特に地域資源を活かし、環境に配慮したまちづくりを推進しなければならない。市民の協力による生ごみの分別は欠かす事の出来ないものである。大和市民の利益を第一に考え、豊橋市での学びを参考に、あらゆる面でできることを探っていきたいと考える。